

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月20日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機ディーゼル駆動消火ポンプのグランドリーク水排出先ファンネルの詰まりについて】 当直員が定例試験において、5号機ディーゼル駆動消火ポンプを起動した際、ポンプのグランドリーク水が排水先のファンネルに流れたが、当該ファンネルの水位が低下しないことから詰まっていることを確認。 当該ファンネル内に仮設ポンプを設置し、別ファンネルへ排水中。 今後、当該ファンネルを清掃および点検予定。	GⅢ	4月18日
2	【6号機補機冷却海水ポンプ(A)のグランドリーク水受け皿排水ラインの詰まりについて】 当直員がパトロールにおいて、運転中の6号機補機冷却海水ポンプ(A)のグランドリーク水が、受け皿より溢れていることを確認。 原因は、受け皿の排水ラインの詰まりと推定。 ポンプの運転状態に異常がないことを確認。 今後、点検予定。	GⅢ	4月18日
3	【6号機Fタンクエリアの淡水化装置の停止について】 当直員が、6号機Fタンクエリアの淡水化装置の「濃縮水安全弁一時側圧力高」警報発生に伴い、当該装置が停止したことを確認。 現場確認の結果、現場盤にB系の自動逆洗工程中に当該警報が発生し、装置が停止したことを確認。 現在、自動逆洗運転から手動逆洗運転に切り替えて運用中のため問題なし。 今後、対応を検討。	GⅢ	4月13日
4	【6号機タービン建屋2階の各空調機室ブロック壁の剥落について】 当直員の地震後パトロールにおいて、6号機タービン建屋2階の各空調機室ブロック壁の剥落を確認。 原因は、3月16日に発生地震による影響と推定。 ブロック壁の剥落箇所については、安全のため立入禁止処置を実施済み。 今後、各空調機室ブロック壁を修理予定。	GⅢ	3月17日
5	【モニタリングポストMP-3建屋内のエアコンの故障について】 協力企業作業員がパトロールにおいて、モニタリングポストMP-3建屋内のエアコンから温風が出ていないこと、および、再起動しても不具合が改善されないことを確認。 現場調査の結果「ファン電動機系異常」のエラーコード表示を確認したことから故障と判断し、当該エアコンの電源を「切」とした。 モニタリングポスト建屋内機器の温度条件は5～35℃であり、現在の建屋内温度は20℃前後であることから、当面はエアコンが停止していても現況は測定に影響なし。 今後、修理予定。	GⅢ	4月18日